

学生の街パークレイとサンフランシスコで多文化体験 アメリカNPOインターンシップ 10日間

- ※朝食0回・昼食0回・夜食0回(機内食を除く) 6名
※現地日本語係員がお世話します ②:パークレイ/MCA
③:ノースウエスト航空、ユナイテッド航空、全日空、日本航空、アジアナ航空(エコノミークラス)
④:IC旅券、または機械読取式旅券(日本国籍)の方はビザ不要
⑤:バスポート残存期間:帰国時まで有効

出発日	旅行代金		
	成田発	関空発	名古屋発
2月28日(木)	247,000円	254,000円	255,000円
早期学割・旅行代金(出発35日前まで)	244,000円	251,000円	252,000円
1人部屋追加代金	18,000円		
相部屋:可(出発の30日前までの相部屋のご希望OK)			

※次の空港施設使用料、空港税、燃油サーチャージ(燃油付加運賃)は旅行代金に含まれておりません。
旅行代金と併せてお支払いください。(※2007年10月1日現在)
①日本国内の国際線空港施設使用料(成田2,040円、関空2,650円、中部2,500円)
②アメリカ空港税(6,600円) ③燃油サーチャージ(26,000円)
※現地活動各団体への支援金として、お一人様US\$100が必要です。現地でスタッフが徴収いたします。
現地通貨でお支払いください。

日程	訪問都市	スケジュール	パークレイ泊
1	成田・関空・中部 サンフランシスコ パークレイ	15:00~19:30 空路、サンフランシスコへ -----<日付変更線を通ります>----- 07:30~14:45 到着 スタッフの出迎えを受け、宿泊先へ 到着後、オリエンテーション	☐ ☐ ☒
2	パークレイ・ サンフランシスコ	[午前]NPO&ボランティア講座を受講 [午後]ボランティア体験	☐ ☐ ☐
3	パークレイ	[終日]パークレイ・ウォーキングツアー	☐ ☐ ☐
4	パークレイ・ サンフランシスコ	[終日]ボランティア体験	☐ ☐ ☐
5	パークレイ・ サンフランシスコ	[終日]ボランティア体験	☐ ☐ ☐
6	パークレイ・ サンフランシスコ	フィールドトリップ [午前]ゴスペル体験 [午後]サンフランシスコミッショナリー地区壁画アートツアー (または自由行動)	☐ ☐ ☐
7	パークレイ・ サンフランシスコ	[午前]ボランティア体験 [午後]ゲスト&交流	☐ ☐ ☐
8	パークレイ	[終日]自由行動	☐ ☐ ☐
9	パークレイ・ サンフランシスコ	各自エアポートシャトルにて空港へ 10:30~13:45 空路、日本へ	☐ ☐ ☒
10	成田・関空・中部	15:00~17:30 各空港到着後、解散	☒ ☒ ☒

旅行企画・実施: 全国大学生協同組合連合会 旅行センター

※プログラム中の交通費、食費は全て旅行代金には含まれておりません。基本的には公共交通機関を利用し、地元のカフェ、レストランなどを現地エスコートスタッフが紹介します。
※上記日程(訪問先の順番等)は訪問先や活動上の都合により変更になる場合があります。
一部の訪問施設は、人数制限があるためグループ別になる場合があります。
※福岡発着(アジア系航空会社)をご希望の方は旅行代金等をお問い合わせください。

もうひとつのアメリカを知る、ボランティア活動

大阪市立大学大学院 教授 柏木 宏

現在アメリカには100万を超すNPOが活動しています。ボランティア活動も生活に根づいています。統計的にも、18歳以上の人の44%がボランティア活動を経験しており、これらの人々が1年間に費やすボランティア活動の時間を合計すると、フルタイムの労働者900万人分に相当します。ボランティア活動が活発な理由のひとつは、受け皿であるNPOが数多く存在し、積極的に活動への参加を呼びかけているからです。また、多様な活動があることも、人々の参加を促しているといえます。高齢者や障害者の介護といった、伝統的なものだけではなく、ホームレスの人々への食事作り、街路樹を植える活動、各種のイベントの手伝いなど、ひとりでグループでも参加できるように工夫されています。海外旅行が一般化しています。渡航先のトップは、アメリカです。しかし、ワシントンでホワイトハウスを見て、ロサンゼルスでハリウッドを闊歩して、ラスベガスでスロットマシンに興いても、アメリカを知ったことにはなるのでしょうか。ボランティア活動へのかわりかは、たとえ1日だけのものであっても、観光だけではわからないアメリカ、もうひとつのアメリカを見せてくれることでしょう。



同志社大学卒業後、渡米。1982年にカリフォルニアでNPO、日本太平洋資料ネットワーク(JPRN)の設立に参加。2003年まで、事務局兼理事長として、多文化社会との関連を中心に、アメリカのNPOやボランティア活動に関する調査、研究、人材育成などの事業を実施。2003年から大阪市立大学大学院創造都市研究科教授。著書に「ボランティア活動を考える/アメリカの事例から」(岩波書店)、「アメリカで仕事体験:NPOインターンシップの魅力」(アルク)など多数。

※「NPO マネジメントブック-組織と事業の戦略的発想と手法」柏木 宏(明石書店)

協力団体 現地プログラム実施団体JPRN



日本太平洋資料ネットワーク(Japan Pacific Resource Network)。カリフォルニア州認定NPO。サンフランシスコをベースに日米間の草の根交流とNPOの人材育成を目指す。人権・まちづくり・環境・福祉など、様々な分野におけるNPO視察研修・体験ツアーを実施しながら、市民レベルの交流と多文化共生社会の実現を促進しています。

早期申込者特典!

ご出発の45日前までにお申込みの方に「旅の指さし会話帳」(1冊)をプレゼント

①「旅の指さし会話帳」アメリカ(発行:情報センター出版局)



ハートで感じた体験は忘れない!

市民・学生運動の発祥地、UCパークレイ校、シリコンバレー、商業、芸術etc……。アメリカの中でもとびっきり多民族で多文化、多様な価値観をもち、自由でのびやかな独自性を誇るベイエリア。サンフランシスコやパークレイなどの湾を囲む地域はベイエリアと呼ばれています。この地では時代とともに学生たちとともに、つねに新しい市民運動のモデルが生まれ続けてきました。「アメリカNPOインターンシップ」は、そんな自由な空気に満ちたベイエリアを楽しみながら、環境・人権・福祉・子ども教育などのボランティア活動に参加し、地域コミュニティに貢献して、多文化社会や市民活動について広く深く学ぶプログラムです。自由で多様な文化と風土を肌で感じる体験は、あなたのハートを強く揺さぶるすばらしい経験になるでしょう。

プログラム内容

アメリカの歴史ある組織でボランティアに挑戦したり、アメリカの多文化生活を体験したり、ウォーキングツアーで観光では見えないアメリカを感じたり、とプログラムは多彩。NPOやボランティアを知るための講座や、ゲストとの交流もあります。その他のお楽しみも満載です。

①NPO&ボランティア基礎講座

アメリカのNPO、ボランティア活動など、アメリカの市民活動についての基礎知識と異文化理解について学び、ボランティアの心構えなどもレクチャーします。

②ボランティア体験・インターンシップ

環境、福祉、国際協力、子ども、人権、平和活動など、通常の旅行や個人ではなかなか参加できないNPO組織でボランティア活動を行います。実績あるNPOでの有意義な体験を通して、多文化社会の実情、NPO活動のあり方や重要性を学びます。また、現地コミュニティの人々との交流や相互理解を促進し、コミュニティの団結、人と人との繋がりも学びます。

<ボランティア内容>

- ホームレスの人々への無料の食事提供 ●子ども放課後プログラムでの遊び
- 食糧支援のための食料仕分け ●街路樹の植樹 ●国際交流のための本づくりなど

③フィールドトリップ(ゴスペル体験&壁画アートツアー)

自由な市民活動と多彩なNPO発祥の土壌となった文化・風土を肌で感じます。街を歩き、地域の人々と出会いながら、これまでの自分とは異なる文化に肌で触れます。

<ゴスペル体験>ゴスペルとは「福音=よい知らせ」の意で、神様からのすばらしい喜びの知らせを歌にのせて賛美する音楽。今、人気のゴスペルを、歌って踊って楽しみます。

<壁画アートツアー>サンフランシスコのミッショナリー地区。ここには優れた壁画アートが数多く存在します。8ブロック内に60以上もある壁画を歩いて鑑賞しながら、その歴史や背景を学びます。

④パークレイ・ウォーキングツアー

70年代学生運動、障害者自立運動、環境運動など、NPO誕生の背景となった市民運動の歴史を学び、NPOが根付いたコミュニティを体感します。カリフォルニア大学パークレイ校や、アメリカ生活を実感できるスーパーマーケットにも立ち寄ります。

⑤ゲスト&交流

コミュニティで活躍中の方やユニークな活動を行っている方を招き、体験談などを語っていただき、交流しながら楽しくコミュニケーションをしましょう。



シニアと一緒に折り紙



壁画ツアー



カリフォルニア大学パークレイ校

なにを学ぶ? なぜベイエリア?

●多文化&ボランティア体験で、明日の自分が見つかる。

「なぜボランティア?」「なぜNPO?」「なぜアメリカベイエリア?」頭で考えているだけでは、答えは見つかりません。私達の「学び」は、根本的に異なる文化を通して魂がゆずられ、自分が変わるような「学び」を体験することにはじまります。アメリカは年間100万人近い移民を受け入れ、彼ら自身が活発な運動を展開する国。なかでもベイエリアは移民の比率も高く多文化ゆえ、異質なものを受け入れる自由な空気に満ちています。ボランティアとベイエリア滞在を通じて「学び」「感じる」体験すべてが、あなたの問いに答えを導き出してくれます。

参加者の声

立命館大学 打田 舞子

今回のツアーに参加して、学んだことのひとつに「ボランティアはmake sense」であるということがある。この言葉を聞いて、アメリカでボランティア・NPOが盛んな理由がわかった。労力や時間を提供するかわりに、楽しさ、達成感、自主性、そして何より「人とのつながり」を得ることができる。このツアーに参加してよかったと心から思えたのは、参加したボランティアが「make sense」だったからに違いない。このツアーで経験し、学んだことを自分のものへと吸収して、これからの人生に大いに役立たい。苦楽を共にした素敵な仲間たちとJPRNの皆さん本当にありがとう! 普段の学生生活では得られない経験や出会いを全て、満たしてくれるこのツアーは学生のうちに絶対に参加すべきだった。

